

北海道エアポートの第二期中期事業計画及び 2025 年度事業計画について

1 趣旨

北海道エアポート株式会社（HAP）は、北海道内 7 空港の一体運営に当たり、実施契約に基づく第二期中期事業計画（2025 年度～2029 年度）及び 2025 年度事業計画を公表した。

2 公表日

令和 7 年（2025 年）3 月 24 日（月）

3 計画の内容

（1）中期事業計画

ア 7 つの重点テーマ

- ① 安全安心・空港満足度向上
- ② 旅客数目標達成・応需体制強化
- ③ 収益力向上・コスト構造改革
- ④ 観光の高付加価値化・新たな来道需要創出
- ⑤ GX/DX に関する取組（サステナビリティ・SDGs）
- ⑥ HAP2030 ビジョン（※）を契機としたエンゲージメント向上
※2030 年を目標に、北方圏の空港運営のリーディングカンパニーとなることを目指す
- ⑦ 産業集積等を契機とした機能強化

イ 旅客数目標値（7 空港合計）（万人）

年度	2025 年度	2029 年度
国内線（2019 年比）	2,636 (101%)	2,730 (105%)
国際線（ 〃 ）	442 (108%)	693 (170%)
合計（ 〃 ）	3,077 (102%)	3,423 (113%)

ウ 主要財務目標（単位：億円）

項目	2025 年度	2029 年度
営業損益	22	193
EBITDA（=営業損益+減価償却費）	232	416

エ 投資計画（単位：億円）

項目	投資額	主な投資内容
活性化投資	349	先進機器導入を含む保安検査場の改修、 旅客利便性及び収益力の向上に係る商業施設改修など
機能維持投資	840	滑走路、航空灯火、車輛の更新、ビル設備改修など
合計	1,189	

(2) 2025年度事業計画

ア 取組方針

- ・ 安全安心を最優先とする空港運営に向けた組織運営・人材育成を進めるとともに、GX・DX等への取組を推進し、北方圏における空港運営のリーディングカンパニーを目指す。
- ・ 航空ネットワークの更なる拡大に向けた応需体制の強化(グランドハンドリング・航空燃料等)を図るなど、地域経済の活性化に寄与する。
- ・ 将来の航空需要を見据えた受入能力向上等の成長投資や安全安心に係る更新投資を着実に実施し、利用者利便の更なる向上を目指す。

イ 主な取組

- ① 安全安心を最優先とする空港運営、持続的な空港経営のための事業運営体制の構築
 - ・ 安全安心に係る機能維持投資の着実な実施、空港満足度向上に向けた取組の実施
 - ・ 省人化・業務効率化に向けたDX施策の検討・実施
 - ・ 空港脱炭素化推進計画の目標達成に向けたGX施策や空港におけるSDGs取組の推進
- ② 航空ネットワークの拡大・広域観光振興等を通じた地域経済の活性化
 - ・ 応需体制構築のための空港受入環境の整備(GSE車両の共用化等)
 - ・ 道内航空ネットワーク(丘珠空港との連携含む)の拡大等を通じた道内周遊の促進
 - ・ 半導体産業進出に伴う空港機能強化への取組
- ③ 航空需要に応じた空港処理能力向上や安全性向上に向けた各種投資の推進
 - ・ 安全安心の空港運営に向けた計画的で着実な更新投資の実施
 - ・ 航空需要を踏まえた処理能力向上や利便性向上に向けた拡張投資の検討・実施
 - ・ 収益基盤の確立に向けた投資対効果を踏まえた各種新規投資の検討・実施

ウ 投資計画

(単位:億円)

項目	投資額	主な投資内容
活性化投資	54	国内線施設等改修及び駐車場拡張に係る設計・工事など
機能維持投資	176	除雪・消防車両や搭乗橋の更新など
合計	230	